

2. 実施概要

(1) 実施期間

令和元年9月4日から令和2年3月6日

(2) 実施項目及びスケジュール

本調査研究の実施項目、仕様書項目番号との対応、全体スケジュールは、表4のとおり。

このうち、「Ⅱ. 生産活動に着目した研究」については、慶應義塾大学産業研究所野村浩二教授に依頼を行い実施し、実地ヒアリング調査については、内閣府経済社会総合研究所担当者が実施した。

「令和元年度教育の質の変化を反映した価格・実質アウトプットの把握手法に関する調査研究」委員会を設置し、全3回の開催を通じて検討を行った(表5)。

(3) 実施結果

本報告書では、実施項目「Ⅰ. 在学者数と教育サービスの実質GDPの関係が正の相関になっていない国の推計方法に関する調査」の調査結果について、とりまとめた。実施項目「Ⅱ. 生産活動に着目した研究」の研究成果については、野村浩二(2020)を参照のこと。

表 4 実施項目・全体スケジュール

実施項目	仕様書項目番号	令和元年				令和2年		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約手続き等		■						■
I. 在学者総数と教育サービスの実質GDPの関係の分析	【4. I】							
(1) 在学者数総数と教育サービスの実質GDPの関係が正の相関になっていない国の推計方法に関する調査	【4. I. (1)】							
1) 実地ヒアリング調査の支援（実地ヒアリング調査項目案の作成等） （実地ヒアリング調査）	【4. I. (1) ①】		■	■				
2) 実地ヒアリング調査結果の整理	【4. I. (1) ②】				■			
3) 産出数量法での再推計	【4. I. (1) ③】					■	■	
(2) 報告書の作成・提出	【4. I. (2)】						■	■
(3) 委員会の開催	【4. I. (3)】		10/17			1/29		3/4
II. 生産活動に着目した研究	【4. II】							
(1) 研究内容	【4. II. (1)】							
1) ESJデータベースの拡充	【4. II. (1) (A)】		■	■				
2) EIOTの延伸（2015年産業連関表反映、2017年まで延伸）	【4. II. (1) (B)】		■					
3) 教育サービスの生産活動側の質指標の構築（ヘドニックアプローチ、価格・実質アウトプット指標構築）	【4. II. (1) (C)】			■	■	■		
4) ESJデータベースとEIOTの延伸の手順書の作成	【4. II. (1) (A)】		■	■		■	■	
(2) 研究報告書の作成・提出	【4. II. (2)】						■	■

表 5 委員会の日時・議事

	日時	議事
第1回 （キックオフミーティング）	令和元年 10月 17日 15:30 ~ 17:30	(1) 令和元年度 ESRI 教育デフレーターの研究について (2) 在学者総数と教育サービスの実質 GDP の関係分析の実実施計画・進捗について (3) 生産活動に着目した研究についての実施計画・進捗について
第2回 （中間報告会）	令和2年 1月 29日 15:30~17:30	(1) 在学者総数と教育サービスの実質 GDP の関係分析の進捗について (2) 生産活動に着目した研究についての進捗について (3) その他
第3回 （最終報告会）	令和2年 3月 4日 （書面開催）	(1) 成果報告書について (2) その他